

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コーナン八幡一ノ坪店	階数	地上1F
建設地	京都府八幡市八幡一ノ坪117-5	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	750 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2012年4月27日
敷地面積	32,760 m <sup>2</sup>	作成者	茶谷 亜彦
建築面積	3,166 m <sup>2</sup>	確認日	2012年4月27日
延床面積	2,953 m <sup>2</sup>	確認者	松本 宏一

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.5** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 400%  
②建築物の取組み 98%  
③上記+②以外の 98%  
④上記+ 98%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4

**LR のスコア = 2.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。とにかく安く仕上げる。余計なものは設置しない。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。空調の効きが極端にわるくならない様注意した。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。ソフト面に対応するため特になし。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。人の動線、駐車場動線に配慮し、開発許可でもとめられる緑地を設置した。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。省エネ法でもとめられる基準を最低確保した。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。特になし。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される